

つきたてに舌鼓



前田道路は13日、東京都品川区の本店で餅つき大会を開いた。写真。社員とその家族が参加し、つきたての餅に舌鼓をうつた。

同イベントでは、子どもたちが楽しめる射的や輪投げのほか、あめ細工の実演、全国の支店から景品を持ち寄った

前田道路 社員・家族と餅つき大会

ビンゴ大会も実施した。お笑い芸人のツバサモトモも駆け付けて同社オリジナルのネクタを披露し、会場を盛り上げた。また、同社の安全ベストや製品のパッケージなどに登場する黄色いゾウのキャラクターの名前が、約540案の社員公募の中から「みちる」に決まったことが発表された。

杵(きね)入りの儀式で、今泉保彦社長は「お子さんも社員の皆さんも、ぜひ餅をついてほしい。また、当社は出雲駅伝や富士山女子駅伝、箱根駅伝といった大学駅伝を支援している。道を駆け抜け若者を支援したい」と呼び掛けた。

会場では、出雲駅伝のスポーツ動画と、富士山女子駅伝、箱根駅伝、ニューオープンの新駅伝CMを上映した。CMの製作チームを代表して水谷明希監督は「出雲駅伝の動画は母と息子との濃いストーリーを描いた。新CMでは、道の上で織りなされる未来へのストーリーを表現した。『みちる』も登場するので、ぜひ見つけてほしい」と話した。

このほか、テニス部とラグビー部が活動報告。今年発足した軟式野球部のユニットもお披露目され、渡邊貴大監督は「今後、部署や地域など仲間のつながりをつくっていく。『推し活』がはやっていいるが、推される存在になりたい」と決意表明した。